

図画工作科の目標
<p>・進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、作りだす喜びを味わうようにする。</p> <p>・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。</p> <p>・身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。</p>

学習すること	
前期	○ ちがいをみとめて
	○ 形や色を楽しもう
	○ すてきなペーパーショップ
	○ むのでかざろう
	○ ねん土のひもから
	○ コロコロガーレ
	○ 切って切って木の世界
	○ つないでいくと
	○ とび出すメッセージ
	○ 運動会のスローガンをつくろう
後期	○ 紙と水のまほう
	○ ここには、きっといるよ
	○ 心にのこったそのことを
	○ べんりなマイボックス
	○ 赤坂掲示
	○ 絵と言葉で表そう
	○ それ行けたんけんたい
	○ 卒業式・入学式を祝おう(飾り作り)
	○ ほってすって

図画工作科の評価

・図画工作科では四つの観点で評価します。			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、作りだす喜びを味わおうとする。	感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。	手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。	身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしている。
・次のような方法で見していきます。			
取り組む様子	作品	絵の具の使い方	アイデアスケッチ 展示方法